

## 第7回宗像市行財政改革推進委員会 議事録

日 時	平成 29 年 3 月 28 日 (火) 18 時 00 分～19 時 30 分	会 場	宗像市役所 第 2 委員会室
委 員	■宗像 優 (会長)      ■今川 泰志 (副会長) □下田 真也      ■広田 葉子      ■山下 永子 (敬称略)		
市	■福崎経営企画部長      ■塔野経営企画課長 (事務局：経営企画課)      ■立花      ■成瀬      □児島		

### 1 開会あいさつ

### 2 審議

#### ○補助金・負担金見直しについて

【事務局】本日、審議対象であった補助金について、説明を行う。

「②-40 文化芸術活動補助金」については、制度の見直しを行い、平成 29 年度より新制度として実施していくため、「② - 41 イベント負担金」については、負担金という取扱いをやめるため、今回の見直し審議対象外としたい。

【会長】事務局より説明のあった 2 つの補助金は、今回の見直し対象外とすることによろしいか。

【委員】異議なし。

#### ◆②-36 世界遺産市民団体活動交付金

【委員】決算状況を見ると、事業費の「むなかた三女神記制作・公演」への支出が多いようだが、本補助金が無くなっても、交付団体は公演等の事業を行いたいと言われているのか。本補助金をやめた場合、むなかた三女神記が公演できなくなるのではないか。

【事務局】公演を継続したいという気持ちはあろうかと考える。ただし、本補助金にある世界遺産登録活動の推進という意味では、一定の役割を終了していると考え。世界遺産登録後、遺産を活用する、次世代に継続していくために、補助金の目的そのものを変えていかなければならないのではないかと考えている。

【委員】本補助金は、世界遺産登録推進活動事業としての役割はやめるが、啓発活動という新たな形で実施するというので、補助金を廃止するわけではないということによろしいか。

【事務局】目的に応じて制度を変えていかなければならないと考えている。本年7月にユネスコにて世界遺産の正式決定を受ける予定だが、一つの節目として、補助金の目的等の整理を行うべきではないかと考えている。

【委員】世界遺産登録後の活動計画等は、事務局で既に検討されていると思うが、登録後すぐに具体的に活動展開できるよう、念入りに事前準備をしていただきたい。また登録後もさらに活性化できるような方策を考えていただきたい。

本補助金の最終目標として、「世界遺産にふさわしいまちづくりができてきている状態となること」とあるが、どのような想定をされているのか。

【事務局】世界遺産登録が大きな契機になるかと考える。登録をきっかけに補助金等についてリニューアルしていきたいと考えている。「世界遺産にふさわしいまちづくり」という都市像も掲げながら、進めていくべきではないかというふうに考えている。この点については、担当課にフィードバックしたい。

「世界遺産にふさわしいまちづくりができてきている状態」とは、世界遺産周辺の景観等が整備されていたり、世界遺産に対する市民の意識が高まり、世界遺産の市民活動が活発に行われていたりする状態のことを指すと考えている。

【委員】世界遺産登録推進活動という目的に関しては達成したので、本補助金については廃止とするが、登録後、市を挙げてイベントを行ったり、PRを行ったりしないといけないので、補助金の要綱等の整理を行うということか。

【事務局】そのとおり。

【会長】本委員会での判定は「廃止」でよろしいか。  
また、以下の点を提言するがよろしいか。

- ・世界遺産登録決定後、具体的に活動展開できるよう、検討を行うこと

【委員】異議なし。

#### ◆②-37 指定文化財補助金

【委員】指定文化財の市民に対する啓発活動はどのような状況か。

【事務局】数年前に、むなかた電子博物館というサイトを立ち上げ、インターネット上で様々な資料が見られるようになっている。文化財等のPRについては、今後も力を入れていきたいと考えている。

【委員】先ほどの質問は、文化財自体についてのPRとともに、文化財の保全修復活動を行政で行っているということもPRしてはどうかという趣旨か。

【委員】そのとおり。

【事務局】担当課にフィードバックしたい。

【会長】本委員会での判定は「継続」でよろしいか。  
また、以下の点を提言するがよろしいか。

- ・文化財自体のPRとともに、保全修復活動のPR活動も合わせて行えるよう検討すること

【委員】異議なし。

#### ◆②-38 イベント補助金

【委員】文化庁からの補助金が平成28年度に増額している理由は何か。

【事務局】地方自治体等がホール等を使用する事業を実施した際の補助金として、文化庁の「劇場・音楽堂等活性化事業補助金」というものがあり、それを活用している。

本補助金は、補助対象経費及び支出割合が定められている平成28年度については、全体の経費が増加したため、補助額も増加している。

【委員】補助が増額したのは、文化庁の評価が高かったということであるのか。  
また、本事業のユリックスの総事業経費に占める割合はどれくらいか。

【事務局】平成27年度に、総務省の地域創造大賞ということで、表彰を受けている。この表彰は、地域で創造的、文化的な表現活動を行う環境づくりに功績があった公立文化施設を表彰するもので、県内では北九州芸術劇場、福岡アジア美術館に次いで3件目ということで、一定の評価を受けているものと考えている。

平成27年度のユリックスの総事業費は約5億8000万円であり、宗像ミアーレ音楽祭に対する本事業の総額約3,800万円の割合は約7%である。

【委員】2日間実施しているとのことだが、プレイベントも含まれているのか。資料の日にちが異なっているようだが、どういうことか。

【事務局】2日間で事業を展開しているが、プレイベントもその2日間に含まれる。

平成27年度は10月11、12日に行い、平成28年度は9月24、25日で行った。音楽祭自体は2日間だが、2日間以外にも、いきいき出前コンサート等を開催し、市内の小・中学校や介護施設等での公演を行っている。

【委員】平成26年度から27年度にかけて、補助額が100万上がっているが、その理由は何か。

【事務局】ミアーレ音楽祭の補助額はユリックスとの協議の中で決定しているが、ユリックスの負担額が大きく、ミアーレ音楽祭は市との共催事業という点から、補助額を増加した。

【委員】平成30年度は市政15周年ということで、拡大開催の予定とのことだが、事務局はどう考えているか。

【事務局】担当課としては、平成30年度に補助額を増額したいようであるが、翌々年度の事業ということで、拡充するかは、現段階では判断できていない状況である。

【委員】文化庁から補助金を獲得するために、ユリックスが地域コミュニティ等と連携して、いきいき出前コンサート等の事業展開をしているということか。

【事務局】2日間の音楽祭以外のアウトリーチ事業として、いきいき出前コンサート等を行っている。地域コミュニティのほか、幼稚園・保育園等でも出前コンサートを行っており、ミアーレ音楽祭の一部として、評価されているものと考えている。

【会長】本委員会での判定は「継続」でよろしいか。

【委員】異議なし。

#### ◆②-39 宗像市文化協会補助金

【委員】最終目標に「将来的に自主運営を行い、市民文化芸術活動の中核を担う」とあるが、現状ではどのような取り組みをされているのか。自主運営に向けて、何もやっていないのであれば、最終目標を変えた方がいいのではないか。

【事務局】最終的には自主運営をするのが理想であるが、現状では厳しいのではないかと考えている。いただいた意見は担当課へフィードバックしたい。

自主財源は会費及び入場料収入が主で、その金額は毎年ほぼ変わらないため、不足している部分について、市の補助金を交付している現状である。また、市としては金銭面での支援だけでなく、市職員による文化協会への運営面での支援も行っている。

【委員】誰もが納得できるような目標設定をしていただくようにしたい。実績報告書等を見ても、自主財源についての文言は掲載されていないので、その部分での議論も続けていった方がいいのではないかと考える。

【委員】文化活動は、まちを良くするという市民の意識の中で活動をされており、市も文化協会と連携、協力して文化事業を実施することが必要だと思う。財源等の問題だけでなく、市と連携協力することで、継続的な活動ができるのだと思う。市の補助金無しで文化協会だけで事業を行うことはできないし、自主運営となると、宗像市の人口規模の文化協会では、市の補助金なしで安定的、継続的な活動は厳しいと思う。

【事務局】文化協会との関わり方の度合いではないかと考える。全てを文化協会にやっていただくということではなく、現在、市が文化協会に関わっている割合を減らし、文化協会主導権を握り、運営を行っていただきたいと考えている。

【会長】本委員会での判定は「継続」でよろしいか。  
また、以下の点を提言するがよろしいか。

- ・補助金の対象経費とその算出根拠の整理を行うこと

【委員】異議なし。

#### ◆②-42 宗像市・グローバルアリーナ連携事業負担金

【委員】施設利用実績の階層別職員研修の参加者が1名のものがあるが、これはどういったものか。

【事務局】宗像市職員の研修であり、参加者は数名いるが、実際に宿泊利用されたのが1名ということである。

【委員】交付件数がここ数年で横ばいのようなのだが、交付先は例年同じところか。

【事務局】平成28年度は予算を記載しており、当初予算額を超えることがあれば、補正予算で対応している。交付対象は、市職員の研修のほか、小中学校の宿泊研修等があり、毎回決まっているわけではない。

【会長】本委員会での判定は「継続」でよろしいか。

【委員】異議なし。

#### ◆②-43 全国大会等参加補助金

【委員】補助金を拡充する場合のイメージは持っているか。

【事務局】本補助金について、担当課で補助額の増額等の検討はしていない。

【委員】今回の補助金見直しの判断は、公益性や特質性等による自動判定であり、担当課による判定では、補助金の拡充となるが、実際に担当課としては拡充を検討していないという矛盾が生じる。今後、同様のケースが発生した場合に、担当課が自動判定とは別に自主的な判断で判定結果を変えるという仕組みづくりを検討されてはどうか。

【事務局】自動判定と担当課による自主的な判定とが異なる場合は、担当課によるコメントを記載するよう、次回以降改善したい。

【委員】今回の「全国大会等参加補助金」のほかに、「宗像市立学校児童生徒の体育大会等参加費用の補助金」があるようだが、後者は体育活動のほか、文化活動に対しての補助をしているのに対し、前者は体育活動に対する補助のみのようなが、二つの補助金の整合性は取れているのか。

【事務局】「宗像市立学校児童生徒の体育大会等参加費用の補助金」については、学校教育の一環として、教育委員会より補助をしている。そのため、「全国大会等参加補助金」とは性質が異なるものと考えている。「全国大会等参加補助金」については、スポーツ基本法に基づき、補助をしている。文化活動については、今回の審議対象外となった「宗像市文化芸術活動事業補助金」で補っているものと考えている。

【会長】本委員会での判定は「継続」でよろしいか。

【委員】異議なし。

◆②-44 宗像市体育協会補助金

【委員】支出項目の事業費とは具体的に何か。

【事務局】軟式野球連盟やゲートボール協会等、各種スポーツ協会に対する活動費を、事業費として支出している。

【委員】それぞれの団体に事業費として補助をしているようだが、何に使っているのか。

【委員】人件費等については、どうなっているか。

【事務局】各種大会の事業費のほか、各スポーツ協会でスポーツ教室等を行っており、それらの事業費に使っているものと考えている。

人件費については、体育協会は宗像市民体育館等の指定管理を受託しており、指定管理料から支出をしている。

【委員】体育協会全体の決算はどうなっているか。

【事務局】今回は補助金該当部分について、体育協会の決算書のみ、お示しをした。体育協会全体の決算については、宗像市体育協会定款に記しているとおおり、法人法に基づく、収支や書類等の監事を行い、総会にて承認を得ている。

指定管理料と収益事業に対する本補助金の決算報告が明確に分かれており、補助金の使用用途については、この報告書等の見せ方の方が分かりやすいのではないかと考える。

【委員】事業費は決算書に掲載されているが、どういったことに使用されているのか分かるような形で掲載していただきたい。

【会長】本委員会での判定は「見直し」でよろしいか。

また、以下の点を提言するがよろしいか。

- ・ 今後は、繰越金額の減少に向けて協議を行うこと

【委員】異議なし。

◆②-45 全日本実業団対抗女子駅伝統一予選会開催負担金

【委員】本補助金の判定についても、自動判定により担当課としては補助金拡充としているのか。

【事務局】特産品の PR や振る舞い鍋等のいわゆるおもてなし事業に対して、充実が求められているということで、担当課としては拡充としているが、負担金を増やしたからと言って、大会の規模が大きくなって、宿泊をしていただく方が増えるというようなことが無ければ、現在の大会規模でも十分ではないかと考えている。

【委員】広報力のあるコンテンツであるので、もっと PR されてはどうか。有名な選手も出場されており、新聞やテレビを用い、より工夫をされて生かしていくべきではないかと思っている。

【事務局】本大会は、全日本実業団対抗女子駅伝全国大会の地方予選会として実施しているが、大会主催者である日本実業団陸上競技連合と連携しながら、PR をしていきたいと考えている。担当課にもフィードバックしたい。

【会長】本委員会での判定は「継続」でよろしいか。

【委員】異議なし。

### 3 その他

【事務局】今回は、4月26日（水）18:00より開催する。